



**Cisco EnergyWise Orchestrator Wake for  
Remote Access アドミニストレーション ガイド**  
**Cisco EnergyWise Orchestrator Wake for Remote Access  
Administrator Guide**

EnergyWise Phase 2  
2010 年 6 月

**【注意】シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意**  
([www.cisco.com/jp/go/safety\\_warning/](http://www.cisco.com/jp/go/safety_warning/))をご確認ください。

本書は、米国シスコシステムズ発行ドキュメントの参考和訳です。  
リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップ  
デートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合があ  
りますことをご了承ください。  
あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サ  
イトのドキュメントを参照ください。

また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊  
社担当者にご確認ください。

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザ側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコシステムズおよびこれら各社は、商品性の保証、特定目的への準拠の保証、および権利を侵害しないことに関する保証、あるいは取引過程、使用、取引慣行によって発生する保証をはじめとする、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコシステムズおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコシステムズまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任は一切負わないものとします。

Cisco and the Cisco Logo are trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the U.S. and other countries. A listing of Cisco's trademarks can be found at [www.cisco.com/go/trademarks](http://www.cisco.com/go/trademarks). Third party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1005R)

このマニュアルで使用している IP アドレスおよび電話番号は、実際のアドレスおよび電話番号を示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、ネットワーク トポロジ図、およびその他の図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスおよび電話番号が使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

*Cisco EnergyWise Orchestrator Wake for Remote Access アドミニストレーション ガイド*

© 2010 Cisco Systems, Inc.

All rights reserved.

Copyright © 2010–2011, シスコシステムズ合同会社.

All rights reserved.



## CONTENTS

はじめに	v
表記法	v
関連資料	vi
Cisco Developer Network でのマニュアルとサポートの入手	vi
マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート	vii
<hr/>	
<b>CHAPTER 1</b>	
Cisco EnergyWise Orchestrator のインストール	1-1
Cisco EnergyWise Orchestrator Wake for Remote Access の概要	1-1
システム要件	1-2
WRA のインストール準備	1-3
WRA 権限の要件	1-3
WRA のインストール	1-4
<hr/>	
<b>CHAPTER 2</b>	
WRA の設定	2-1
アプリケーション パラメータのカスタマイズ	2-1
ホームページのカスタマイズ	2-2
検索結果のカスタマイズ	2-2
IIS マネージャでアプリケーション設定をカスタマイズする方法	2-3
アプリケーションの設定と説明	2-4
WRA ブラウザ ページのカスタマイズ	2-5
ブラウザ ページの場所	2-5
ヒント テキストの編集	2-5
検索結果で返される情報の編集	2-6
ヘッダーとロゴの変更	2-6
<hr/>	
<b>CHAPTER 3</b>	
WRA のトラブルシューティング	3-1
接続の問題	3-1
Windows 2003 のセキュリティ メッセージ	3-1
wake プロセス中のタイムアウト	3-1
ワーカー プロセスがシャットダウンまたはリサイクルされるときに IIS アプリケーション プールが予期せず終了する	3-2
IIS アプリケーション エラー	3-2
検索結果の問題	3-2
検索結果に重複したコンピュータ名が返される	3-2

トラブルシューティング用の WRA テスト ファイルの使用方法 3-3  
    テスト ファイルの使用方法 3-3

APPENDIX A

重要な通知 A-1  
    特記事項 A-1  
        ステートメント 361 : 電源障害が発生した場合に VoIP および緊急コール サービスは機能しない A-2  
        ステートメント 1071 : 警告の定義 A-2



## はじめに

---

### 表記法

コマンドライン インターフェイス (CLI) 構文の記述では、次の表記法を使用します。

- コマンドおよびキーワードは、**太字**で示しています。
- ユーザが値を指定する引数は、*イタリック体*で示しています。
- 角カッコ ([ ]) の中の要素は、省略可能です。
- 必ずどれか 1 つを選択しなければならない要素は、波カッコ ({ }) で囲み、縦棒 (|) で区切って示しています。
- 任意で選択する要素の中で、必ずどれか 1 つを選択しなければならない要素は、角カッコと波カッコで囲み、縦棒で区切って ([{|}) 示しています。

対話形式の例では、次の表記法を使用しています。

- 端末セッションおよびシステムの表示は、screen フォントで示しています。
- ユーザが入力する情報は、**太字の screen** フォントで示しています。
- パスワードやタブのように、出力されない文字は、山カッコ (<>) で囲んで示しています。

対話形式の例では、次の表記法を使用しています。



(注)

---

「注釈」です。役立つ情報や、このマニュアル以外の参照資料などを紹介しています。

---

**注意**

「**要注意**」の意味です。機器の損傷またはデータ損失を予防するための注意事項が記述されています。

**警告****安全上の重要事項**

「**危険**」の意味です。人身事故を予防するための注意事項が記述されています。機器の取り扱い作業を行うときは、電気回路の危険性に注意し、一般的な事故防止対策に留意してください。警告の各国語版については、各警告文の末尾に提示されている番号をもとに、この機器に付属している各国語で記述された安全上の警告を参照してください。ステートメント 1071

これらの注意事項を保存しておいてください。

## 関連資料

管理アプリケーション プログラミング インターフェイス (API) およびエンドポイント ソフトウェア 開発キット (SDK) に関する情報を提供するパートナー企業のドキュメントは、Cisco Developer Network (<http://developer.cisco.com/web/esdk/home>) で入手できます。

- *Cisco EnergyWise* マニュアルのロードマップ
- 『*Cisco EnergyWise Partner Development Guide*』
- 『*Cisco EnergyWise Programmer Reference Guide for the End Point SDK*』
- 『*Cisco EnergyWise Programmer Reference Guide for the Management API*』
- 『*Release Notes for Cisco EnergyWise, EnergyWise Phase 2*』

## Cisco Developer Network でのマニュアルとサポートの入手

シスコのパートナーは、Cisco Developer Network (<http://developer.cisco.com/web/esdk/home>) に参加することにより、EnergyWise のマニュアル、API および SDK ソフトウェア コード、および Cisco IOS ソフトウェアにアクセスできます。

Cisco Developer Network および TAC の EnergyWise リソースにアクセスするには、サポート契約およびライセンスが必要です。ライセンスを登録したビジネス開発マネージャは、適切なアクセス権限を持つ Cisco.com アカウントを設定する必要があります。

Cisco Developer Network のフォーラム、Wiki、およびリソースは、EnergyWise アプリケーション開発者およびプログラマを対象としたセルフヘルプ ナレッジ ベースおよびコミュニティを提供します。TAC Service Request Tool (<http://tools.cisco.com/ServiceRequestTool/create/launch.do>) で事例を開くと、追加のサポートを受けることができます。

## マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート

マニュアルの入手方法、テクニカル サポート、その他の有用な情報について、次の URL で、毎月更新される『*What's New in Cisco Product Documentation*』を参照してください。シスコの新規および改訂版の技術マニュアルの一覧も示されています。

<http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html>

『*What's New in Cisco Product Documentation*』は RSS フィードとして購読できます。また、リーダーアプリケーションを使用してコンテンツがデスクトップに直接配信されるように設定することもできます。RSS フィードは無料のサービスです。シスコは現在、RSS バージョン 2.0 をサポートしています。







# CHAPTER 1

## Cisco EnergyWise Orchestrator のインストール

---

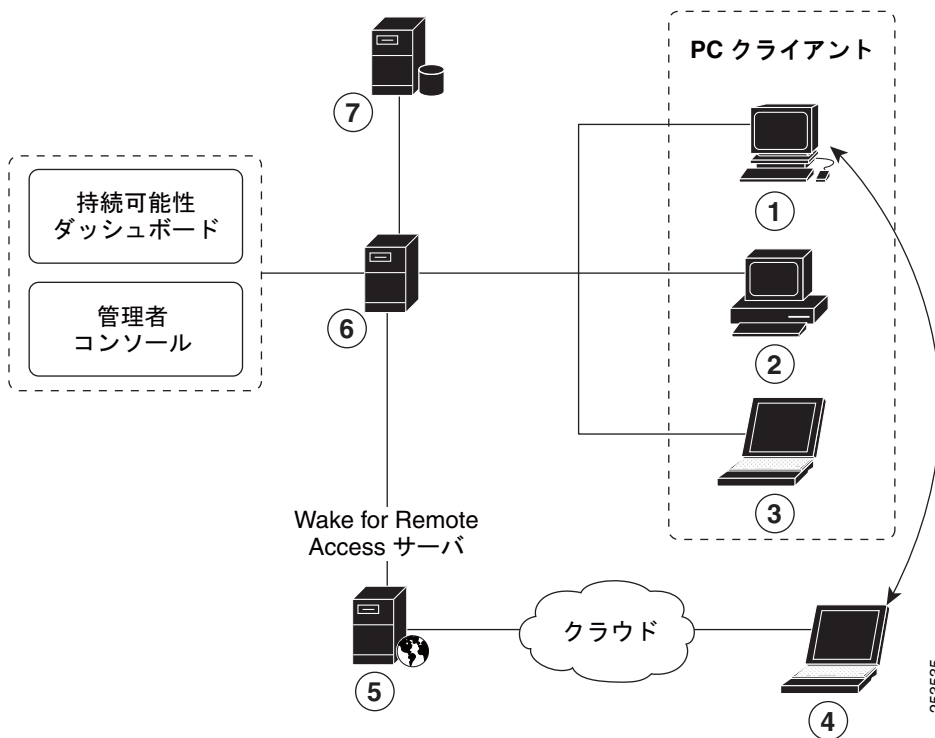
- 「Cisco EnergyWise Orchestrator Wake for Remote Access の概要」 (P.1-1)
- 「WRA のインストール準備」 (P.1-3)
- 「WRA のインストール」 (P.1-4)

### Cisco EnergyWise Orchestrator Wake for Remote Access の概要

Wake for Remote Access (WRA) は、Cisco EnergyWise Orchestrator 電源管理スイートのコンポーネントです。Wake on WAN テクノロジーを使用して、組織内のメンバーがオフサイトで作業をしているときに、オンサイトのコンピュータが低電力状態に変更された後でも、このコンピュータにアクセスできるようにします。

ユーザは、Web ブラウザおよび Web インターフェイスを使用してコンピュータ名を入力または検索し、ボタンをクリックして Orchestrator 電源管理サーバに要求を送信し、コンピュータをウェイクします。コンピュータが起動されたら、ユーザは規定どおりのリモート ログイン手順に従ってコンピュータにアクセスします。

図 1-1 WRA の基本の概要



1	ワークステーション	5	Microsoft IIS サーバ
2	デスクトップ PC	6	電源管理サーバ
3	ラップトップ PC	7	Microsoft SQL サーバ
4	自宅の PC またはリモート ラップトップ PC		

**ヒント**

ユーザのオンサイト コンピュータには Orchestrator クライアント エージェントがインストールされている必要がありますが、WRA を使用するリモート コンピュータにインストールされている必要はありません。

## システム要件

- Microsoft Windows Server 2003 SP2 Edition
- Microsoft Internet Information Services (IIS) 6.0
- Microsoft .NET 3.5 SP1
- Wake on WAN を有効にして構成した Cisco EnergyWise Orchestrator インストールへの接続

ユーザが WRA を表示してコンピュータをウェイクするには、Internet Explorer 7 または 8、または最新バージョンの Firefox を使用することをお勧めします。

## WRA のインストール準備

- 
- ステップ 1** IIS をホストしているサーバでブラウザ ウィンドウを開き、アドレス バーに **http://localhost** と入力して、IIS サービスが実行中であることを確認します。
- IIS が実行中でない場合は、Windows のスタート メニューを使用して IIS マネージャを開き、サービスを開始します。
- ステップ 2** Orchestrator 電源管理サーバと通信して wake 要求を実行する WRA ユーザ アカウントを作成します。このアカウントの名前とパスワードは、インストール中に必要になります。
- 

## WRA 権限の要件

WRA インストーラおよびサービスを実行するように指定したユーザには、次の権限が必要です。

- Windows Server 2003 で IIS 6 を使用する場合、このユーザは IIS サーバの IIS\_WPG Windows グループのメンバーにもなっている必要があります。
- Orchestrator Administrator コンソールでセットアップされている、すべての関連するセキュリティ グループの Change Device State 権限を持つセキュリティ ロールに属している必要があります。

詳細については、『Cisco EnergyWise Orchestrator Administrator Guide』の「Security and Permissions in the Orchestrator System」の項を参照してください。

# WRA のインストール

セットアップ プログラムによって WRA がインストールされ、仮想 IIS ディレクトリが作成されます。

**ステップ 1** WRA.zip 配布ファイルを圧縮解除し、setup.exe ファイルを実行します。

**ステップ 2** ウィザード ページの指示に従い、入力する必要があるインストール固有の情報をこれらのページに入力します。

- [Power Management Server Info] : WRA で接続する Orchestrator サーバのコンピュータ名を入力します。



**(注)** サーバ名をコンピュータ名にする必要があります。エイリアスを入力すると、WRA を使用しようとしたときにエラーが発生します。

- [WRA ASP.NET Application User] : WRA サービス用に作成したユーザのドメイン名、ユーザ名、およびパスワードを入力します。[Next] をクリックします。



**(注)** インストーラは、入力されたサーバ名またはユーザ名を確認しません。ただし、無効な名前を入力すると、インストール後に WRA ホームページを開いたときに、*Service unavailable* エラーが発生します。

WRA サービス用のユーザの作成については、「[WRA のインストール準備](#)」(P.1-3) を参照してください。

**ステップ 3** [Ready to Install the Program] ウィンドウで、[Install] をクリックします。

セットアップ プログラムが wwwroot の下に wra という名前で IIS 仮想ディレクトリを作成し、このディレクトリに WRA ファイルを配置します。

**ステップ 4** ウィザードが終了したら、[Finish] をクリックします。

**ステップ 5** ブラウザを開いて WRA ホームページ (<http://YourServerName/wra>) を表示し、いくつかのテスト検索を実行して接続を確認します。

ユーザが WRA を通じてリモートでコンピュータをウェイクできるように、ユーザにホームページの URL を送信してください。



## CHAPTER 2

# WRA の設定

---

WRA をカスタマイズすると、次のことを行えます。

- ワイルドカード検索を使用できるようにするなど、コンピュータ名がよくわからない場合に、ユーザが自分のコンピュータを見つけやすくする。
- ブラウザの cookie を無効にするなど、組織の IT ポリシーに準拠するようにパラメータを設定する。
- 検索結果に返されるコンピュータの数を指定する。
- 次のように、ユーザに対して表示されるブラウザ ページを変更する。
  - 組織のブランドと一致させる。
  - 行ったアプリケーション カスタマイズを反映するようにヘルプ ヒントを修正したり、ユーザにとって役立つ別のヒントを追加する。

## アプリケーション パラメータのカスタマイズ

- 「ホームページのカスタマイズ」 (P.2-2)
- 「検索結果のカスタマイズ」 (P.2-2)
- 「IIS マネージャでアプリケーション設定をカスタマイズする方法」 (P.2-3)
- 「アプリケーションの設定と説明」 (P.2-4)

## ホームページのカスタマイズ

ユーザが WRA ホームページに移動すると、検索基準を入力して、ウェイクするコンピュータを検索できます。

図 2-1 WRA ホームページの検索フォーム

デフォルトで、次の検索機能が有効です。

- 似たコンピュータ名を検索するための、ワイルドカード文字 (\* および \_) のサポート。



(注) デフォルトでは、検索フォームに 3 文字以上を入力する必要があります。アスタリスクを 1 つ使用してすべてのクライアントを返そうとした場合は、再試行を求めるメッセージが表示されます。

- ユーザが最後に入力した検索基準を保存するオプション。

これらのオプションのいずれかを無効にしたり、必要な最小文字数およびその他のパラメータを変更するには、「[IIS マネージャでアプリケーション設定をカスタマイズする方法](#)」(P.2-3) を参照してください。

## 検索結果のカスタマイズ

ユーザが検索にワイルドカードを含めた場合、一致した最初の 5 台のコンピュータが返されます。コンピュータがリストされない場合は、文字 (ワイルドカード以外) を追加して、もう一度検索できます。

IIS マネージャを使用すると、検索結果で返されるコンピュータの最大数を変更できます。返される情報のカスタマイズの詳細については、「[WRA ブラウザ ページのカスタマイズ](#)」(P.2-5) を参照してください。



(注) 検索結果では、Orchestrator クライアント エージェントがインストールされ、ライセンスがあるコンピュータだけが返されます。

## IIS マネージャでアプリケーション設定をカスタマイズする方法

アプリケーション設定にアクセスする方法は、使用する IIS のバージョンによって異なります。

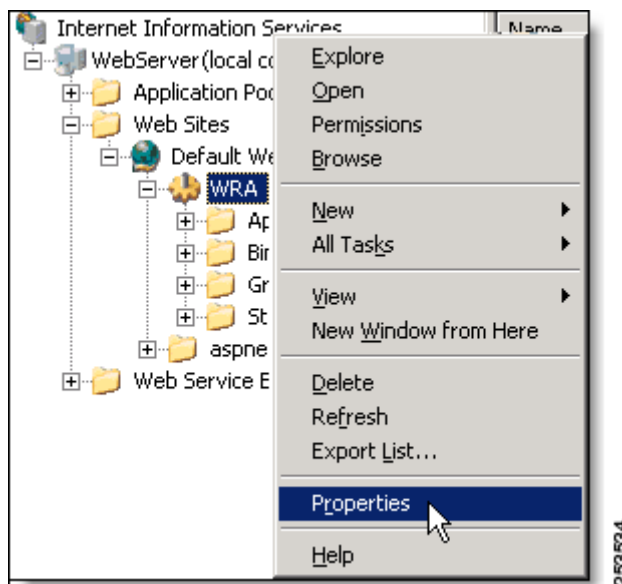


(注) 各設定の説明については、「[アプリケーションの設定と説明](#)」(P.2-4) を参照してください。

### IIS 6 マネージャで検索オプションをカスタマイズする方法

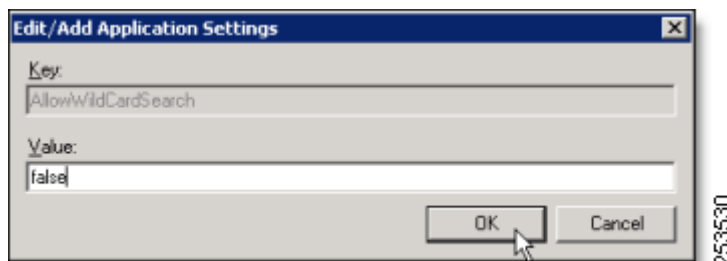
- ステップ 1 IIS サーバで、Windows のスタートメニューから IIS マネージャを開きます。
- ステップ 2 WRA を右クリックし、[Properties] を選択します。

図 2-2 WRA サイトのプロパティの表示



- ステップ 3 [Properties] ダイアログボックスで [ASP.NET] タブをクリックし、[Edit Configuration] をクリックします。
- ステップ 4 設定をカスタマイズします。「[アプリケーションの設定と説明](#)」(P.2-4) を参照してください。

図 2-3 WRA アプリケーション設定の編集



## アプリケーションの設定と説明

表 2-1 IIS マネージャの設定

設定	説明と値
AllowWildcardSearch	<p>検索で、* および _ のワイルドカードを許可します。デフォルトは <i>true</i> です。 <i>false</i> に設定した場合は、ユーザがコンピュータ名を入力する必要があります。</p> <p>ワイルドカードを無効にする場合は、Default.aspx ページの Tips コンテンツを編集して、検索にワイルドカードを含める方法の説明が表示されないようにします。詳細については、「<a href="#">WRA ブラウザ ページのカスタマイズ</a>」(P.2-5) を参照してください。</p>
AutoPing	<p>awake 要求を送信する前に、コンピュータがスリープ解除されているかどうかを確認します。デフォルトは <i>true</i> です。</p> <p>詳細については、「<a href="#">接続の問題</a>」(P.3-1) の「wake プロセス中のタイムアウト」を参照してください。</p>
MaxReturn	検索で表示される結果の最大数。デフォルトは 5 です。
MinSearchLength	検索フォームに入力する文字の最小数。デフォルトは 3 です (ワイルドカードを含む)。
Refresh	<p>ウェイク結果ページのステータスを更新するまで待つ秒数です。デフォルトは 2 です。</p> <p>この設定にはページのロードにかかる時間が含まれないため、実際の更新時間は、指定された時間よりも長くなる可能性があります。</p>
ServerName	WRA 通信用の電源管理サーバを示すテキスト文字列。
ShowCookieCheckBox	ユーザが検索基準を保存できるかどうかを指定します。デフォルトでは <i>true</i> に設定されています。 <i>false</i> に設定した場合、ホームページにチェックボックスとラベルが表示されません。
SupportText	<p>デフォルト メッセージ: 「If you continue to receive this error, please contact your support department.」</p> <p>(注) このメッセージは、IIS マネージャで変更できます。</p> <p>このメッセージは、ユーザがコンピュータを検索したときに、WRA サービスと電源管理サーバとの通信で問題が発生した場合に検索結果ページに表示されます。</p> <p>これは、たとえば、サーバがオフラインの場合、または IIS マネージャのサーバ名設定が正しくない場合に発生する可能性があります。</p>
Timeout	コンピュータが到達可能でないと判断するまでの待機時間の秒数。デフォルトは 9300 です。これを変更する場合は、Orchestrator Administrator コンソールの [Server settings] ページの [Device check-in interval] に設定した値 (デフォルトは 10 分間) の 1.5 倍を使用することをお勧めします。



## WRA ブラウザ ページのカスタマイズ

WRA には、ユーザのブラウザに表示されるページが 3 つあります。XHTML および CSS に関する経験がある場合は、これらのページをカスタマイズできます。次に例を示します。

- 検索でワイルドカード文字を無効にし、ワイルドカード文字の使用方法を説明する ヒント テキストを削除する。
- 企業のブランドをより適切に反映したページを作成する。
- 検索結果に表示される情報を調整する。

ここでは、次の内容について説明します。

- 「ブラウザ ページの場所」(P.2-5)
- 「ヒント テキストの編集」(P.2-5)
- 「検索結果で返される情報の編集」(P.2-6)
- 「ヘッダーとロゴの変更」(P.2-6)

### ブラウザ ページの場所

Web ページは、WRA サイトのルート (*Inetpub¥wwwroot¥wra*) にあります。

- Default.aspx (ホームページ)
- SearchResults.aspx
- WakeResults.aspx

各ページには、ヒント テキストおよびその他のページ要素 (WRA アプリケーションを挿入するコードなど) を含む XHTML コードがあります。

ブラウザ ウィンドウのヘッダー ロゴおよびタイトル バー テキストは、MasterPage.master ファイルで指定されます。

.css スタイル シートで、ヘッダーの背景画像や、その他のスタイルおよびレイアウト属性が定義されます。



注意

.aspx、.master、および .css ファイルを編集する前に、これらのバックアップ コピーを作成します。編集は、自己リスクで行ってください。シスコのテクニカル サポートでは、これらのページをカスタマイズした後で発生したエラーのトラブルシューティングはできません。

### ヒント テキストの編集

- ステップ 1** IIS サーバで、*Inetpub¥wwwroot¥wra* に移動し、Default.aspx をコード エディタまたはテキスト エディタで開きます。
- ステップ 2** 編集するテキストを検索し、ユーザに知らせる情報が反映されるように変更し、希望する表示になるように XHTML コードを組み込みます。

同じ方法で、ユーザに対して表示される任意のページのヒント テキストを編集できます。

## 検索結果で返される情報の編集

検索結果には、各コンピュータの名前、IP アドレス、MAC アドレスが含まれます。ページには、リストされたコンピュータに対して **wake** または **ping** を行うオプションが含まれます。

検索結果に表示される情報を制限するには、情報を表示する XHTML コードを編集する必要があります。たとえば、[Ping] ボタンの削除や、IP アドレスまたは MAC アドレスの削除ができます。

検索結果テーブルから情報を削除するには、次のようにします。

- 
- ステップ 1** .aspx ファイルのバックアップ コピーを作成してから、IIS サーバで `Inetpub¥wwwroot¥wra` に移動し、`SearchResults.aspx` をコード エディタまたはテキスト エディタで開きます。
- ステップ 2** `<ItemTemplate>` で、削除する情報があるテーブル行を検索し、その行を削除します。
- たとえば、IP アドレスを削除するには、次のコードブロックを削除します。
- ```
<tr>
<td><strong>IP Address</strong></td>
<td><%# DataBinder.Eval(Container.DataItem, "IP") %>
</td></tr>
```
- ステップ 3** ファイルを保存して閉じ、ページをテストして、変更によって期待される結果が得られたことを確認します。
- 

## ヘッダーとロゴの変更

この変更を行うには、`Inetpub¥wwwroot¥wra` にある次のファイルを編集します。

- `MasterPage.master`  
ページ ヘッダー セクションに表示されるロゴおよびテキストを削除または置換できます。
- `Styles¥wra.css`  
バナー、本文、またはコンテンツ背景を変更したり、色、フォント、およびその他のスタイル属性およびレイアウト属性をカスタマイズできます。



## CHAPTER 3

# WRA のトラブルシューティング

- 「接続の問題」 (P.3-1)
- 「検索結果の問題」 (P.3-2)
- 「トラブルシューティング用の WRA テスト ファイルの使用方法」 (P.3-3)

## 接続の問題

### Windows 2003 のセキュリティ メッセージ

Internet Explorer Enhanced Security Configuration コンポーネントを有効にした Windows 2003 コンピュータで、ホームページ (Default.aspx) を Internet Explorer で開いたときにセキュリティ メッセージが表示されることがあります。WRA サイトが、インターネット (信頼されない) ゾーンとして識別され、表示されません。

次の解決策のいずれかを使用してください。

- Internet Explorer で、WRA サーバの URL をイントラネット ゾーンに追加します。
  - IE で、[Tools] / [Internet Options] を選択し、[Security] タブで [Local intranet] をクリックします。
  - [Sites] をクリックし、[Advanced] をクリックして、WRA サーバの URL をイントラネット ゾーンに追加します。
- コントロール パネルを使用し、[Add/Remove Programs] の [Add/Remove Windows Components] セクションで、Explorer Enhanced Security Configuration を無効にします。

詳細については、[Microsoft Knowledgebase Article 303650](#) を参照してください。

### wake プロセス中のタイムアウト

Orchestrator Administrator コンソールの [Server Settings] ページの [Device check-in interval] 設定は、次の条件の両方が true のときに wake 要求が費やす時間に影響を与えます。

- ユーザが WRA を使用して wake 要求を送信した先のコンピュータが、すでに起動している。  
および
- AutoPing アプリケーション設定が false に設定されている。「[アプリケーションの設定と説明](#)」 (P.2-4) を参照してください。

これらの条件下で、最後にクライアントがチェックインした直後にユーザが WRA を使用してクライアントに wake 要求を送信した場合、wake プロセスがチェックイン間隔とほぼ同じ長さの時間を費やすことがあります。

これに対して、コンピュータが停止している場合は、サーバが要求を有効にすると、コンピュータが wake 要求を受信します。

この問題を解決するには、AutoPing をデフォルトの true に設定します。



(注)

wake の結果ページに、頻繁にタイムアウトするという警告が表示される場合は、コンピュータが起動している可能性があります。この警告がある場合は、通常の手順でログインしてください。

## ワーカー プロセスがシャットダウンまたはリサイクルされるときに IIS アプリケーション プールが予期せず終了する

この問題は、WRA サービスを実行しているユーザが IIS サーバの Windows グループ IIS\_WPG に属していないときに発生します。詳細については、「[WRA 権限の要件](#)」(P.1-3) および [Microsoft Knowledgebase Article 918041](#) を参照してください。

## IIS アプリケーション エラー

サーバでアプリケーションエラーが発生しました。セキュリティ上の理由のため、カスタム エラー設定によって、アプリケーションエラーの詳細がリモートで表示されないようになっています。ただし、ローカル サーバ マシンで実行しているブラウザでは表示できます。

この問題を解決するには、WRA がインストールされているコンピュータから Web ページを表示するか、一時的にエラー詳細のリモート表示を有効にします。



(注)

エラー詳細のリモート表示を有効にすると、WRA のパフォーマンスに影響を与えることがあるため、一時的な使用に留めてください。

## 検索結果の問題

### 検索結果に重複したコンピュータ名が返される

ユーザが検索を実行すると、検索結果に同じ名前のコンピュータが複数返されます。

Orchestrator Administrator コンソールを開き、重複したコンピュータを表示して、複数ある理由を確認します。

最も多い理由として、コンピュータまたはネットワーク カードを交換する必要があったが、その後も元のコンピュータ名を使用している場合に、この問題が発生します。このケースに当てはまるかどうかを判断するには、[Last Connected] 値が役立ちます。現在使用されていないコンピュータのインスタンスでは、Orchestrator のライセンスを削除して、WRA の検索結果に表示されないようにしてください。

# トラブルシューティング用の WRA テスト ファイルの使用 方法

問題が「接続の問題」(P.3-1) に該当しない場合は、WRA テスト ファイルを使用する方法があります。これらのファイルで提供される情報は、ユーザおよびシスコのテクニカル サポートが、どこからトラブルシューティングを開始すればよいかを判断するために役立ちます。

テスト ファイルは、`Inetpub¥wwwroot¥WRA` ディレクトリにあります。

## テスト ファイルの使用方法

エラー メッセージが表示された場合、または Wake Up for Remote Access を実行できない場合、Web ブラウザを開き、アドレス バーにテスト ファイルの URL を入力します。たとえば、`http://YourServerName/WRA/test file name` となります。*test file name* は次のいずれかです。

- `test.html` : この HTML コンテンツは、単純な成功メッセージです。これが表示されない場合、問題の原因は、IIS またはインターネット接続にあります。
- `test.aspx` : このファイルは、ASP.NET および電源管理サーバ接続をテストします。このファイルを開くと、一連のテストの結果が表示されます。

結果によって、テストが失敗した場所が示されます。たとえば、*Result* が *Connected* で、*Permissions Test* が *Failed* の場合、電源管理サーバにアクセスしたが、現在のユーザが電源管理サーバに必要な権限を持っていないことがわかります。





## APPENDIX **A**

### 重要な通知

---

- 「特記事項」 (P.A-1)
- 「ステートメント 361 : 電源障害が発生した場合に VoIP および緊急コール サービスは機能しない」 (P.A-2)
- 「ステートメント 1071 : 警告の定義」 (P.A-2)

### 特記事項

Cisco EnergyWise の利用により、使用していないデバイスの電源を切ることでネットワーク内のエネルギー消費を減らすことができます。IP Phone がネットワークの一部であれば、EnergyWise を介して IP Phone の電源を切り、コールの発信や受信をできないようにすることもできます。電話機の電源投入は、ネットワーク管理者が行うか、ネットワーク管理者が EnergyWise で設定したルールに従って行う必要があります。ネットワークの場所における法律によって、緊急用に使用できる電話機の確保が義務付けられている場合があります。ユーザは、適用される法律を識別し、その法律を遵守する責任があります。法律で定められていない場合でも、一部の電話機を常時使用可能にして、緊急コールの発信や受信ができるようにしておくことを強くお勧めします。これらの電話機を明確に識別し、すべての従業員や、コールを発信または受信するための緊急アクセスを必要とするユーザにこれらの電話機が使用可能であることを通知してください。

## ステートメント 361 : 電源障害が発生した場合に VoIP および緊急コール サービスは機能しない



Warning

**Voice over IP (VoIP) service and the emergency calling service do not function if power fails or is disrupted. After power is restored, you might have to reset or reconfigure equipment to regain access to VoIP and the emergency calling service. In the USA, this emergency number is 911. You need to be aware of the emergency number in your country.**

警告

電源障害や停電の場合、ボイス オーバー アイピー (VoIP) サービスと緊急呼出しサービスは機能しません。電源の回復後、VoIP と緊急呼出しサービスにアクセスするには機器をリセットまたは再設定する必要があります。米国内の緊急呼出し番号は 911 です。お住まいの地域の緊急呼出し番号をあらかじめ調べておいてください。

## ステートメント 1071 : 警告の定義



Warning

### IMPORTANT SAFETY INSTRUCTIONS

**This warning symbol means danger. You are in a situation that could cause bodily injury. Before you work on any equipment, be aware of the hazards involved with electrical circuitry and be familiar with standard practices for preventing accidents. Use the statement number provided at the end of each warning to locate its translation in the translated safety warnings that accompanied this device. Statement 1071**

### SAVE THESE INSTRUCTIONS

警告

安全上の重要な注意事項

「危険」の意味です。人身事故を予防するための注意事項が記述されています。装置の取り扱い作業を行うときは、電気回路の危険性に注意し、一般的な事故防止策に留意してください。警告の各国語版は、各注意事項の番号を基に、装置に付属の「Translated Safety Warnings」を参照してください。

これらの注意事項を保管しておいてください。